

令和8年度 シラバス

教科	公民	科目	政治・経済	必修・選択	単位数	2
教科書・副教材等	最新政治・経済（第一学習社）					
学習の到達目標	1 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための概念や理念などを理解し、諸資料から社会の在り方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付ける。 2 現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想することや構想したことを議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を身に付ける。 3 現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けるとともに、公民として日本及び国際社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深める。					
評価の観点	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現		c. 主体的に取り組む態度		
	現実社会の諸課題の解決策の提案に必要な概念や理念を理解している。 諸資料や信頼できる情報に基づいて社会課題や解決のための取組を調べ、まとめることができる。	現実社会にある複雑な課題や解決のための取組を説明することができる。 現代社会の諸課題を解決するために自ら考え、考えたことをもとに説明や議論を行うことができる。		現実社会の諸課題を解決するために、主体的に議論に参加し、社会に参画する意識を高めることができる。		
評価の方法	考查、授業の参加状況（話し合いの内容を含む）、レポートで評価する。					
	単元		主な学習内容			
前期	1 現代国家と民主政治 2 日本国憲法と基本的人権 3 日本の政治制度と政治参加 4 現代の経済社会		・民主政治や法の原理を学び、自分と政治との関わり、政治や法の在り方、主権者としての自分の生き方を考える。 ・日本国憲法で保障された人権や平和主義を学び、自分と人権との関わり、人権や平和の在り方を考え、主権者としての自分の意見をもつ。 ・立法・司法・行政の制度、地方自治、政党政治を学び、自分と政治との関わり、政治やその制度の在り方を考え、主権者としての自分の意見をもつ。 ・市場経済の原理や企業の役割、国民所得、金融、財政を学び、自分と経済とのかかわり、経済社会やその制度の在り方を考え、消費者・労働者・納税者としての自分の意見をもつ。			
後期	1 現代の日本経済と福祉の向上 2 現代日本における諸課題の探究 3 国際政治の動向と課題 4 国際経済理論 5 国際経済の動向と課題 6 国際社会における諸課題の探究		・現代の日本経済の特徴や課題、課題解決のための取組を学び、自分と日本経済との関わり、経済社会やその制度の在り方を考え、消費者・労働者・納税者としての自分の意見をもつ。 ・現代の日本経済の課題について、自らテーマを設定して探究し、探究したことや自分の意見を表現する。 ・国際法や国際社会の概要、日本の役割を学び、自分と国際政治との関わり、国際政治やその制度の在り方を考え、国際社会の一員としての自分の意見をもつ。 ・国際収支や外国為替の理論を学ぶ。 ・国際経済の概要と課題、日本の役割を学び、自分と国際経済との関わり、国際経済やその制度の在り方を考え、国際社会の一員としての自分の意見をもつ。 ・現代の国際社会の課題について、自らテーマを設定して探究し、探究したことや自分の意見を表現する。			